

マイプロジェクト  
自分の「学びたい」  
「わくわく」を  
大切にす

# 佐久市 青少年健全育成市民集会 意見文発表

浅間中学校3年



## 情報の 収集

- 車椅子を押したときに思ったことを書いた。
- 一番は、人が多いところが大変だった。注意したところは、すぐゆっくりと歩いたところ。すぐに止まれるようにしていた。
- うらやましさもあった。いろいろなところに行きたかったけど、ゆっくりだったから。写真も撮りにくかった。

## 整理・ 分析

- 歩道の希望は、カーブをきつくしないで欲しい。広がったり、平らだったりする方がいい。
- 車椅子レーンがあってもいい。速く動く人と、道を分けてあるといい。

## 課題の 設定

- 夏休みに、ちょっと特別な体験をした。これは、意見文にふさわしいと思った。

## まとめ・ 表現

- 自分自身歩き方を気をつけていきたい。お互いに相手の立場に立って思いやって行動することの大切さを感じた。発表のときも伝えられた。

車いすの大変さ

私は夏休みに東京デイズニーシーに母親と二人で行きました。母は「足が痛い」と言って、車いすのレンタルを希望しました。押すのは私になるので、車いすを押した経験はありませんがやってみることにしました。

当日、車いすをレンタルし、押そうとした時、想像よりもはるかに重く、軽く押しただけでは全く進みませんでした。全体重をかけて押したらやっと動き、進み始めましたが、うまくバランスをとって押さないと左右どちらかに曲がってしまいそうで、まっすぐ押すのも大変でした。しばらく歩くと上り坂があり、進もうとしても全然進まず、思いつきり押しながら坂を上りました。とても暑い日だったので日陰に入ろうと少しせまい道に入ったら、早速近くの壁にぶつかけそうになりました。危ないので広い道に出ると、日差しが強くてきつかったです。この他にも、坂を下る時は体重を後ろにかけて、気をつけて下らなければ、すごいスピードで下ってしまいうさだったし、人がたくさんいる道は細心の注意を払ってゆっくり進まなければならないし、写真を撮る時は道のわきに止めてから撮らないといけないし、急に曲がれないし…。不便なことだらけで、はやく移動したい、たくさん写真を撮りたいと思っていては私にはとても不満で、周りをスタスタ歩く人たちを見てとてもうらやましくなりました。

車いすを押すことはとても苦労が伴うことでした。この体験を通して思ったことが二つあります。

一つ目は、歩く人の動きは危険だということです。歩行者が急に立ち止まったり、急に曲がったりすると、歩いている時でも危ないなと思います。車いすだともっとヒヤヒヤします。車いすはぶつけてしまったらかなり痛いと思うので、ぶつけないように気をつけていても歩行者の機敏な動きにより危なかった…。という場面がたくさんあったりしました。私も急に立ち止まったり、曲がったりしてしまうことがあるので、気をつけたいと思いました。

二つ目は、坂や曲がりくねった道、狭い道の通りにくさです。坂は上りでも下りでもとてもきつくて、きつい分ゆらゆらしてしまったりします。曲がり道は曲がりきれなくなりそうな時があるし、せまい道は周りの壁にぶつかけそうになります。このような道は本当に進みづらいななど感じました。さけて通るには遠回りをしなくてはならなくて大変でした。

車いすでのデイズニーシーはとても大変でした。人が多く、普通に歩くとより体力を使うし、慣れていないこともあって神経も使いました。移動がしづらいとストレスがたまりました。普段車いすを「押す」人には目が行きませんが、皆大変な思いをしているんだなと感じたので、もっと車いすに優しい社会になったらいいなと思いました。